

【和解条項以外の環境対策】

1. 土壌による大気浄化のフィールド実験

<経緯>

実験施設の建設

窒素酸化物（ NO_x ）や浮遊粒子状物質（SPM）等を除去するための新技術として、土壌を用いた大気浄化について平成13年度に尼崎市西向島町（出屋敷交差点付近）に実験施設の建設を行い、平成14年7月よりフィールド実験に着手しています。

<現状及び今後の方針>

フィールド実験の実施

平成15年度も引き続きフィールド実験を行うとともに、実験結果等については、学識経験者による委員会に諮り技術的評価を行います。



図8. 土壌を用いた大気浄化実験施設位置図

土壤層（上層）



吸気口



通気層



写真8. 実験施設の状況

2. 光触媒による大気浄化のフィールド実験

<経緯>

窒素酸化物（ NO_x ）を除去するための新技术として、光触媒による大気浄化のフィールド実験に着手すべく、平成14年度に尼崎市域において、光触媒を遮音壁、ガードレール、中央分離帯等に塗布しました。

（約1.5km、約11,700 m^2 ）

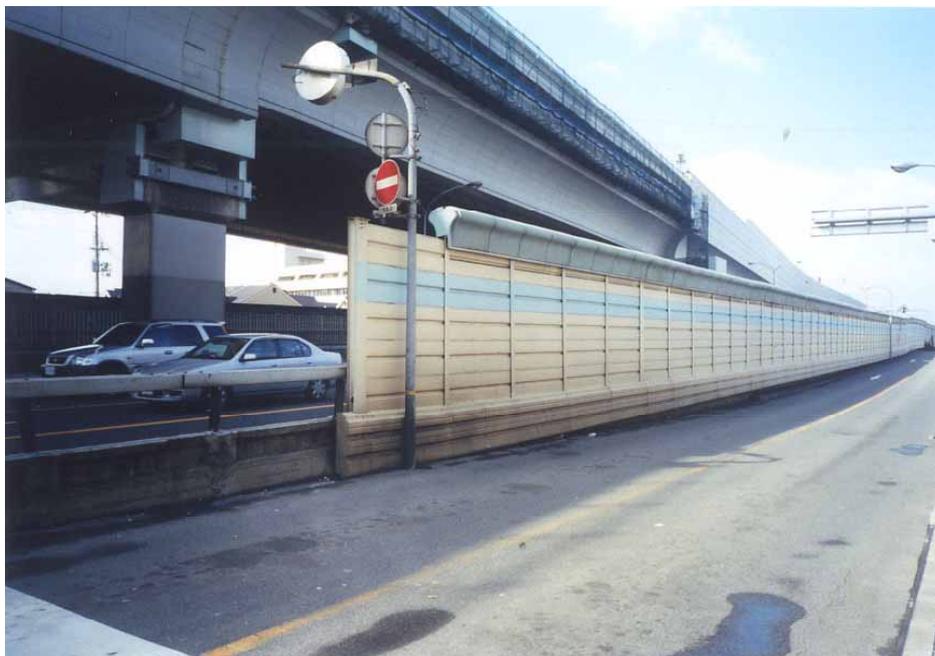
<今後の方針>

平成15年8月よりフィールド実験に着手しており、実験結果については、今後、調査結果が取りまとめられた段階で公表します。



図9. 光触媒フィールド実験位置図

施 工 前



施 工 後



写真9. 光触媒によるフィールド実験
(尼崎市域：H14年度施工)

3. 3号神戸線の維持補修

<経緯>

阪神高速道路公団では自動車走行の安全性や沿道環境の保全を確保するため、舗装、伸縮継手などの損傷について、目視による点検を毎日行っています。また、高速道路の路下に対する安全性の確保や構造物の損傷確認のため、路下から2ヶ月に1度程度、検査路から6ヶ月に1度程度点検を行っております。

平成14年度は、日常点検の結果、鋼製伸縮継手補修を1箇所（3レーン）行いました。

<現状及び今後の方針>

今年度も引き続き自動車走行の安全性や沿道環境の保全を確保するため、良好な維持管理に努めます。

施 工 前



施 工 後



写真10. 鋼製伸縮継手の補修（尼崎市西本町付近）